平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月31日

上場会社名　株式会社 王将フードサービス　　上場取引所　大
コード番号　9936　URL　http://www.ohsho.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 大東　隆行
問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長　(氏名) 内田　浩次　TEL 075-592-1411

四半期報告書提出予定日　平成25年2月14日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	55,868	5.0	6,972	△1.7	7,151	0.6	4,136	12.7
24年3月期第3四半期	53,215	3.2	7,096	△8.0	7,112	△9.4	3,671	△12.1

(注)包括利益　25年3月期第3四半期　4,119百万円　(8.7%)　24年3月期第3四半期　3,791百万円　(△9.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	204.93	―
24年3月期第3四半期	181.94	181.90

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	59,203	38,001	64.2
24年3月期	55,993	35,093	62.7

(参考) 自己資本　25年3月期第3四半期　38,001百万円　24年3月期　35,093百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	30.00	―	30.00	60.00
25年3月期	―	30.00	―		
25年3月期(予想)				30.00	60.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	74,500	4.9	9,101	△1.0	9,247	△0.3	5,353	11.3	265.19

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	23,286,230 株	24年3月期	23,286,230 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	3,099,828 株	24年3月期	3,099,808 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	20,186,408 株	24年3月期3Q	20,180,157 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 ……2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 ……3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 ……4
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 ……4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ……4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……4
３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要 ……4
４．四半期連結財務諸表 ……5
（１）四半期連結貸借対照表 ……5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ……7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 ……9
（４）継続企業の前提に関する注記 ……10
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

＜ 連 結 経 営 成 績 サ マ リ ー ＞			
	金額	構成比	前年同期比
売上高	55,868 百万円	100.0 ％	5.0 ％増加
営業利益	6,972 百万円	12.5 ％	1.7 ％減少
経常利益	7,151 百万円	12.8 ％	0.6 ％増加
四半期純利益	4,136 百万円	7.4 ％	12.7 ％増加
・ 全店客数前年同期比２．１％増(既存店４．５％減)…直営店実績 ・ 既存店売上高対前年同期比１．０％減収…直営店実績			

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、自民党の安倍晋三内閣への政権交代を背景に、大納会では２年４ヶ月ぶりに円安水準となり景気回復の兆しが見えつつあるものの、世界経済は欧州債務問題や中国景気減速の影響などで踊り場の様相を呈しており、日本の海外進出の主眼が低コスト労働力の確保から旺盛な現地需要の獲得に移っていることを勘案すると必ずしも円安が望ましいとは言えず、依然として先行き不透明感が漂っております。

外食業界におきましては、所得環境や雇用不安の懸念から消費者の生活防衛意識は強く、企業間の価格やサービスの競争激化により引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような状況下当社グループは、全国展開のさらなる足がかりとして山梨県への初出店を果たし、北海道内にも出店を加速致しました。未出店地域進出の勢いを維持しつつ、引き続き東日本に重点を置いた出店を進めるべく、2013年には埼玉県東松山市に久御山工場（600店舗の生産能力）と同等の新工場建築に着手致します。これにより、総売上額の７割強が近畿２府４県に偏っている現状の打破、並びに東北地方をはじめ遠方への配送も行っている船橋工場では不可能であった関東地区におけるドミナント出店が可能となります。料理、サービス、クレンリネス及び安全性、衛生・環境対策等を基礎とした店格の向上に努め、引き続きより多くの地域で投資効率が高く、その土地に根付いたお客様に愛される店舗作りに邁進して参ります。

一方毎年恒例となりました「ぎょうざ倶楽部会員募集キャンペーン」におきましては、今年度は昨年度の52万名を上回る54万名の会員数に達しました。この会員数は年々増加し続け、2000年に行った第１回キャンペーン時に比べると約22倍にも上ります。確実にお客様の当社に対する認知と期待が高まってきている証と捉え、今後もお客様に感動を与え続けられるよう、2013年スローガン「自己改革　輝くまで磨きぬけ！！人間力」の下、全社一丸となって精進して参ります。

店舗展開の状況につきましては、当連結会計年度の出店計画に基づき、関東、関西地区を中心に直営25店、フランチャイズ（以下ＦＣという）14店の新規出店、ＦＣ１店の直営店への移行、直営１店、ＦＣ４店の閉鎖を行っております。これにより期末店舗数は、直営438店、ＦＣ222店となりました。

① 売上高

連結売上高は、前年同期に比べて26億52百万円（5.0%）の増収で558億68百万円となりました。

② 営業利益

新店効果による増収がありましたが、電気・ガス代や人件費等の増加があり、前年同期に比べて１億23百万円（1.7%）減少し、69億72百万円となりました。

③ 経常利益

前年同期の東日本大震災義援金計上といった特殊要因の減少等により、前年同期に比べて39百万円（0.6%）増加し、71億51百万円となりました。

④ 四半期純利益

法人税率の引き下げ等により、前年同期に比べて４億65百万円（12.7%）増加し、41億36百万円となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

（資産の部）

当第３四半期末における総資産の残高は、前連結会計年度末に比べ32億10百万円（5.7%）増加し、592億３百万円となりました。主な増減要因は次のとおりであります。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ20億72百万円（19.8%）増加し、125億15百万円となりました。主な要因は現金及び預金の増加等であります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ11億37百万円（2.5%）増加し、466億87百万円となりました。主な要因は建物及び構築物の増加等であります。

（負債の部）

当第３四半期末における負債の残高は、前連結会計年度末に比べ３億２百万円（1.4%）増加し、212億２百万円となりました。主な増減要因は次のとおりであります。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ18億60百万円（13.1%）減少し、123億85百万円となりました。主な要因は未払法人税等の減少等であります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ21億62百万円（32.5%）増加し、88億17百万円となりました。主な要因は長期借入金の増加等であります。なお、借入金の残高は120億68百万円となりました。

（純資産の部）

当第３四半期末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ29億８百万円（8.3%）増加し、380億１百万円となりました。主な要因は四半期純利益が41億36百万円になったことや配当金の支払い12億11百万円による減少等であります。以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の62.7%から64.2%となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第３四半期末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ20億71百万円増加し、109億41百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、前年同期より４億17百万円（7.6％）減少し、50億90百万円となりました。主な要因は法人税等の支払額の増加であります。

主な内訳は、税金等調整前四半期純利益69億73百万円に減価償却費24億39百万円等を加えた額から法人税等の支払額41億66百万円等を減じた額であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、前年同期より７億80百万円（28.8％）増加し、34億92百万円となりました。主な要因は有形固定資産の取得による支出の増加であります。

主な内訳は、有形固定資産の取得による支出32億49百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は、前年同期より９億１百万円増加し、４億74百万円となりました。主な要因は長期借入金の返済による支出の減少であります。

主な内訳は、借入金の純増加額16億85百万円や配当金の支払額12億11百万円等による支出であります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年９月21日に修正発表した業績予想の見通しに対して、当第３四半期連結業績は想定した範囲内の実績であるため、達成できるものと見込み、業績予想は変更しておりません。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

４．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,922	10,983
売掛金	162	215
商品及び製品	93	106
原材料	245	341
その他	1,028	885
貸倒引当金	△9	△16
流動資産合計	10,443	12,515
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	40,214	42,505
減価償却累計額	△26,505	△27,959
建物及び構築物（純額）	13,709	14,546
機械装置及び運搬具	2,491	2,791
減価償却累計額	△1,738	△1,910
機械装置及び運搬具（純額）	752	881
工具、器具及び備品	3,613	3,863
減価償却累計額	△2,810	△3,051
工具、器具及び備品（純額）	803	811
土地	21,188	21,282
建設仮勘定	581	343
有形固定資産合計	37,035	37,865
無形固定資産	70	57
投資その他の資産		
投資有価証券	1,464	1,440
差入保証金	4,332	4,479
その他	2,736	2,936
貸倒引当金	△90	△90
投資その他の資産合計	8,444	8,765
固定資産合計	45,550	46,687
資産合計	55,993	59,203

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,780	1,884
短期借入金	210	840
1年内返済予定の長期借入金	6,202	5,109
未払法人税等	2,149	659
賞与引当金	606	207
その他	3,296	3,684
流動負債合計	14,245	12,385
固定負債		
長期借入金	3,969	6,119
退職給付引当金	515	465
資産除去債務	552	599
その他	1,617	1,632
固定負債合計	6,654	8,817
負債合計	20,900	21,202
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,166	8,166
資本剰余金	9,031	9,031
利益剰余金	26,678	29,604
自己株式	△5,016	△5,016
株主資本合計	38,859	41,785
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	132	116
土地再評価差額金	△3,899	△3,899
為替換算調整勘定	△0	△1
その他の包括利益累計額合計	△3,766	△3,784
純資産合計	35,093	38,001
負債純資産合計	55,993	59,203

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年12月31日）
売上高	53,215	55,868
売上原価	15,814	16,326
売上総利益	37,401	39,541
販売費及び一般管理費	30,304	32,568
営業利益	7,096	6,972
営業外収益		
受取利息	9	7
受取配当金	36	36
ＦＣ加盟料	87	95
受取地代家賃	50	49
受取保険金	12	66
新株予約権戻入益	40	－
雑収入	25	26
営業外収益合計	261	282
営業外費用		
支払利息	47	37
賃貸費用	22	22
東日本大震災義援金	114	－
雑損失	59	43
営業外費用合計	245	103
経常利益	7,112	7,151
特別利益		
固定資産売却益	9	4
特別利益合計	9	4
特別損失		
固定資産除却損	167	145
固定資産売却損	－	8
減損損失	－	28
特別損失合計	167	182
税金等調整前四半期純利益	6,954	6,973
法人税、住民税及び事業税	2,862	2,717
法人税等調整額	421	118
法人税等合計	3,283	2,836
少数株主損益調整前四半期純利益	3,671	4,136
四半期純利益	3,671	4,136

四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	3,671	4,136
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	28	△15
土地再評価差額金	91	－
為替換算調整勘定	△0	△1
その他の包括利益合計	119	△17
四半期包括利益	3,791	4,119
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,791	4,119
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年12月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6,954	6,973
減価償却費	2,247	2,439
減損損失	―	28
貸倒引当金の増減額（△は減少）	1	6
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△4	△49
受取利息及び受取配当金	△45	△44
支払利息	47	37
固定資産売却損益（△は益）	△9	4
固定資産除却損	167	145
たな卸資産の増減額（△は増加）	△90	△108
仕入債務の増減額（△は減少）	177	103
未払消費税等の増減額（△は減少）	54	△78
その他	△136	△207
小計	9,365	9,251
利息及び配当金の受取額	45	43
利息の支払額	△48	△38
法人税等の支払額	△3,854	△4,166
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,508	5,090
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額（△は増加）	△1	11
有形固定資産の取得による支出	△2,453	△3,249
有形固定資産の売却による収入	10	54
貸付けによる支出	△155	△109
貸付金の回収による収入	90	81
差入保証金の差入による支出	△252	△298
その他	50	19
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,712	△3,492
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	740	630
長期借入れによる収入	6,696	6,516
長期借入金の返済による支出	△6,438	△5,460
社債の償還による支出	△140	―
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の処分による収入	27	―
配当金の支払額	△1,311	△1,211
財務活動によるキャッシュ・フロー	△426	474
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△1
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	2,369	2,071
現金及び現金同等物の期首残高	7,223	8,869
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,592	10,941

（４）継続企業の前提に関する注記

当第３四半期連結累計期間（自 平成24年４月１日 至 平成24年12月31日）

該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第３四半期連結累計期間（自 平成24年４月１日 至 平成24年12月31日）

該当事項はありません。